クローバーだより

２０１５年６月１９日
名古屋柳城短期大学附属
三好丘聖マーガレット幼稚園
柴田　ともみ

＜自我の芽生え＞

生まれたばかりの子どもは、自分は母親と同じ、つまり一心同体だと思っていて、自分は母親とは異なる別の人間だなんて、思っていないそうです。二歳前後になるにつれ、徐々に自分は他の人とは違う気持ちをもっているのだと気づきます。すると、自分の気持ちを他人へ伝えようとします。これが自己主張すなわち自我の芽生えなのです。親が何を言っても「イヤ」と言う「イヤイヤ期」がこれに当たります。

これは、子どもが親を困らせようという悪意からでは決してありません。自分の気持ちを必死に伝えようとしているのです。ところが自分の気持ちをうまく表現できないので「イヤ」という単純な言葉で表現しているのです。「自主性」「表現力」「強い意欲」「しっかりした意志」があるからこその子どもの精一杯の気持ちなのです。これを「だめ！今はこれをしなさい！」と叱っても逆効果。ここで子どもが無理に良い子となり、自我を抑え付けてしまうと、思春期の反抗期に影響がでてしまう・・・ということもあるそうです。子どもが「イヤ」と言ったらその気持ちを受け止め、うまく表現できないことを代弁してあげたり、違うことに目が向けられるような言葉をかけてみて下さい。言葉を覚えていくこの時期だからこそ、たくさんの楽しい言葉を聞かせてあげて頂ければと思います。

二歳児は、「イヤイヤ」言うことが大切な成長です。「イヤイヤ」言っていたら「今日も元気にイヤイヤ言ってる！成長だ！」と大きな心で子どもを見守り、受けてとめてあげて下さい。今は大変かもしれませんが、それも一時のこと。根気よく、心に寄り添い、楽しく会話しながら過ごして頂ければと思います。

トラブルが増えてきた！どうすれば？？

自我がでてきたことにより、友だちとの関わりも増え、玩具の取り合いになるトラブルが起きてきます。「これやりたい！！」という好みが出てきたけれど、まだ「かして」は言えない。だから、友だちがもっていてもそれをとってしまい、トラブルになる・・・これも自我がでてきた大きな成長。だけどまだまだ「譲り合う」ということは難しいのです。言葉で言われても、あまりよくわからない。だからまた同じことをする。では、どうやって伝えたら良いのでしょう？効果的と言われていわれていることは、大人が手本となること。すると、子どもは目で見て理解します。「順番に使うんだよ」と言うのではなく、親も一緒になって「かして」と言って、同じように行動すると「こうすれば良いんだ！」と、気づいていきます。日常の生活の中でも、親が「どうぞ」と貸してあげる。「かして」と言ってから物を借りる。「ありがとう」とお礼を言う。といった形で行っていくと少しずつ理解していくそうです。「子どもは親の鏡」良い手本となって頂けたらと思います。

《子育て相談》

自分の子育てにこれでいいのかな？と不安に思われた時、
こんな時どうしたらいいのと思われた時にお話にいらっしゃいませんか？
保育経験者がお話しさせていただきます。お電話で予約していただき、
ご都合の良い日を決めさせていただきます。
TEL　０５６１－３６－８３７３　　お電話お待ちしています

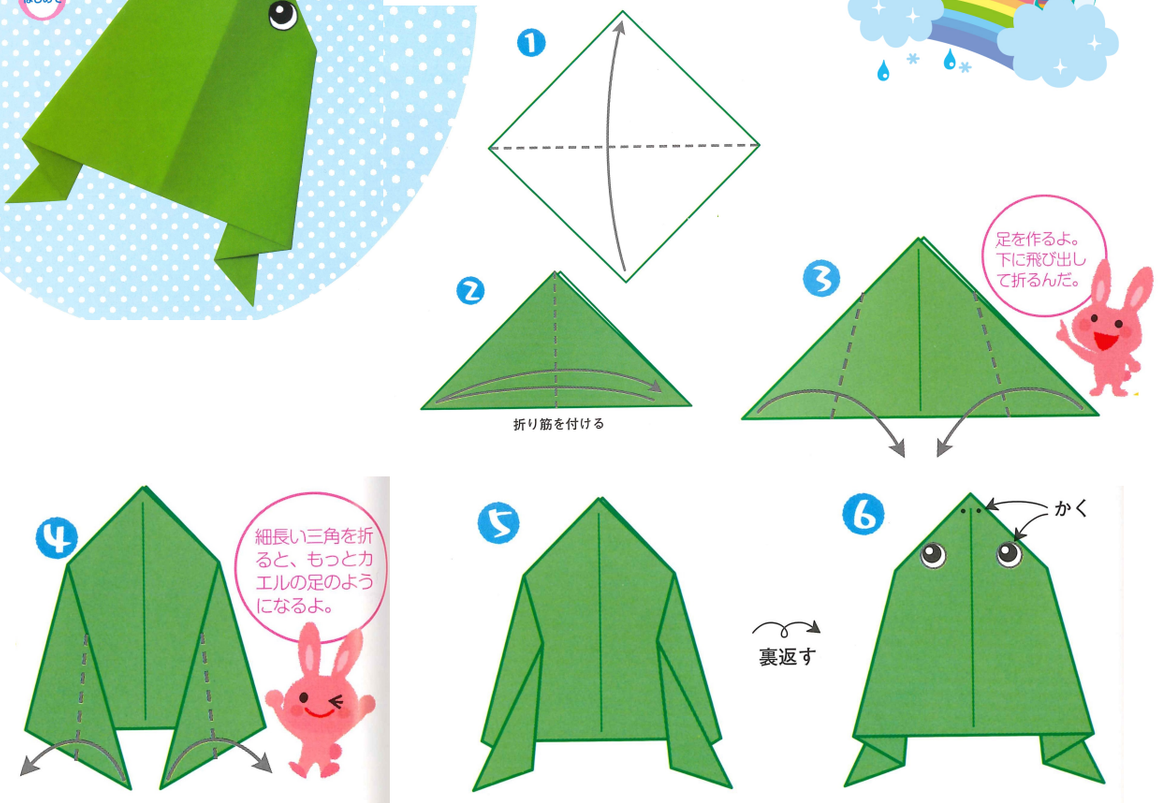
雨の日が続いても、楽しいメニューでウキウキ気分！

カエルバーガー

【材料】
バンズ、タラ、こしょう、塩、小麦粉、卵、パン粉、サラダ油、マヨネーズ、ちくわ、キントキマメの水煮缶、ハム、エダマメ、レタス

【作り方】
1. タラに塩、こしょうを振って、小麦粉、よく溶きほぐした卵、パン粉の順で衣を付ける。
2. 170 度のサラダ油で❶を揚げる。
3. バンズにマヨネーズを塗り、❷を挟む。
4. ちくわを２㎝くらいの幅に切って、水煮のキントキマメをちくわの穴に入れ、カエルの目を作る。
5. エダマメを半分に切って鼻に、ハムは丸く型抜きをしてほっぺにする。
6. ❸にマヨネーズで❹❺をカエルの顔になるように付ける。

おりがみ

カエル

大きな体からひょこっと
足を出したカエルは、大きな口が特徴的。
足の折り具合はだいたいの感覚でOK！